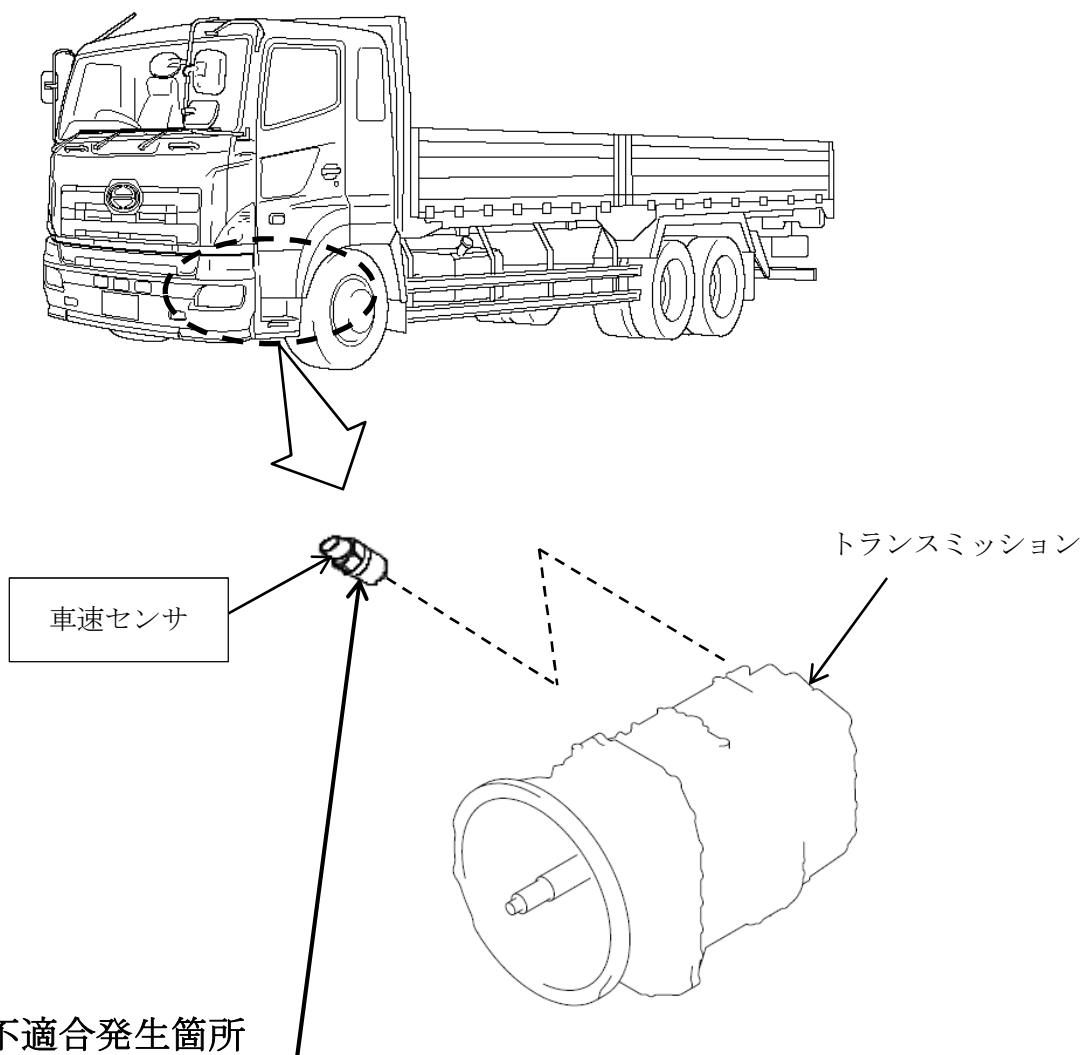


改善箇所説明図①②



注： は交換する部品を示す。

動力伝達装置に組み込まれている車速センサにおいて、

- ① 内部基板部のハンダ量が不足しているため、使用過程でハンダ部に亀裂が発生するものがある。そのため、一時的にハンダ部が導通不良となり、警告灯が点灯し、速度計が指示不良となるおそれがある。
- ② 外部磁力に対する検討が不足していたため、鉄くずを積載するための電磁石等で動力伝達装置が一時的に磁化するとセンサ内部の磁界が乱れることがある。そのため、車速センサが出力できなくなり、警告灯が点灯し、速度計が指示不良となるおそれがある。

改善の内容：

全使用者に当該不具合を周知し、不具合の申し出があった場合は車速センサを対策品に交換する。
また、一部の車両はエンジン制御用コンピュータを対策プログラムに書き換える。

識別：改善済車両にはネームプレートに黄色ペイントを塗布する。